

研修会報告

平成 29 年 9 月 28 日

分責：血液部門員 加賀淑子

血液部門研修会

研修会テーマ「末梢血液像の見方～ホップ・ステップ・ジャンプ～」

開催日時 平成29年9月23日(土) 13:30～17:00

会場 東北大学医学部臨床中講堂

【講演・講師】

1. 「末梢血液像の見方～ホップ・初めの一步篇～」

仙台医療センター 臨床検査科 伊東貴美技師

2. 「末梢血液像の見方～ステップ・前に踏み出そう篇～」

3. 「末梢血液像の見方～ジャンプ・実症例を見てみよう篇～」

東北大学病院 診療技術部検査部門 菅原新吾技師

生涯教育点数 専門20点

参加者 会員46名、非会員2名、実務委員5名 計53名

【内容】

今回の血液部門研修会は『末梢血液像の見方～ホップ・ステップ・ジャンプ～』をテーマに開催した。講演1では末梢血液像判読の基礎について判読を開始する前に確認すべき事項から始まり、低倍率や高倍率で各々観察すべきポイントなど血液形態検査の実際を講演頂いた。簡易染色液を用いた凝固検体症例やEDTA偽性血小板減少症例の確認方法と寒冷凝集の対処方法は、血液担当初心者や日当直でのみ末梢血液像を確認する他部門の技師にとって大変役立つ内容であった。講演2では血液細胞の特徴点にポイントを置いて各細胞を詳しく説明して頂いた。分類基準の説明もあり血液像初心者には判読基準の確立に役立ち、中・上級者は判読基準の再確認ができ、日常業務を行う上で今後役立つ内容となっていた。講演3では、ライブ投影した症例を観察し所見用紙に所見を書き込むという形で実症例を参加者全員で鏡検した。今回は観察時間が短く細部まで観察できなかったため、次回以降の検討課題である。

今後も末梢血液像や骨髓像の研修会を企画し、宮城県臨床検査技師会の形態検査の底力アップにつなげていきたい。